

こども新聞

週刊

がほピョンプレス

毎週日曜発行

2025 11/23

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



今日23日は、働く人々の勤労に感謝する「勤労感謝の日」です。今回は、私の職場である仙台市危機管理局の仕事や役割について紹介します。地震や津波、大雨などの自然災害はもちろん、テロや感染症など市民の皆さんの命や暮らしを脅かす「あらゆる危機」から守るために日頃から準備し、実際に危機が起きたときに対応するのが私たちの仕事です。



はやさかアドバイザーの

学ぼう防災

32

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ



勤労感謝の日

いろいろな仕事で

街を支えてるよ

家族で話し合ってみよう

イラスト・本郷由紀子

みんなが街を支えている

勤労感謝の日

特に重要なのは、危機が起きる前の「備え」です。大きな災害が起きても被害が少なくなるように、都市全体の防災計画を考えたり見直したりしています。避難所が混雑しないように対策を考えたり、災害時に支援が必要な方々の避難計画作りを手伝ったりもします。それから、地域で自主的に防災活動をする「自主防災組織」や、地域の

防災リーダーを育てるための研修を行い、皆さんの「自助・共助の力」を強めるサポートをしています。災害時に市役所全体がスムーズに動けるための訓練も行い、本番で力を発揮できるよう、普段から準備しています。いざ、地震などの危機が発生したら、危機管理局が司令塔となって動きます。被害状況や必要な情報を集め、市役所

内の各チームや、警察、消防、自衛隊などと情報を共有して連携する「災害情報センター」の運営も大切な役割です。災害の規模が大きいと数日間家に帰れないことや遠くの被災地へ応援に行くこともあるので、水や食料と着替えは多めに自分のロッカーに準備しています。

街や人々の安全や暮らしを守っているのは、市役所や消防署だけではありません。電気やガス、水道を支える方々や、食べ物を作ったり運んだりする仕事のおかげで、私たちは便利な生活を送れています。きつと皆さんの家族も「災害に強い街を支える大切な仕事」をする一人です。今日は家族の仕事が街や人々の生活や暮らしにどのように役立っているのかを話し合いながら、災害が起きる前にできることや、起きた後に行動するかを確認してみよう。

街や人々の安全や暮らしを守っているのは、市役所や消防署だけではありません。電気やガス、水道を支える方々や、食

（仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人）

この日 何の日

◇24日(月) 和食の日

和食文化の継承を目的に一般社団法人和食文化国民会議が制定。日付は「いい(11)に(2)ほんしょ(4)く」の語呂合わせ。和食は2013年に国連教育科学文化機関(ユネスコ)無形文化遺産に登録されました。

2面 ニコ☆プチ

3面 3分チャレンジ

4・5面 わが校わがまち スクール通信

6面 キホンがわかる こども英語

7面 投稿特集

8面 Let's try 防災クッキング

きょうの紙面

